

株式会社 JERA が発行する「トランジション・リンク・ボンド」への投資について

学校法人梅村学園（以下「本学園」）は、このたび、株式会社 JERA（以下、「同社」）が発行する「株式会社 JERA 第 28 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（トランジション・リンク・ボンド）」（以下「本債券」）への投資を決定しましたので、お知らせします。

同社は本債券の発行にあたり、ICMA クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2023、サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023 をはじめとする各種原則及びガイドラインに即して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より適合性について評価を取得しています

同社は、「世界のエネルギー問題に最先端のソリューションを提供する」ことをミッションに掲げ、「JERA ゼロエミッション 2050」において、2050 年における国内外の事業の CO2 ゼロエミッションに挑戦しています。国内事業においては、「JERA ゼロエミッション 2050 日本版ロードマップ」を策定するとともに、2030 年度および 2035 年度へ向けた「JERA 環境コミット」にて CO2 排出量削減に向けた目標を設定し、ゼロエミッション火力と再生可能エネルギーを柱として取り組みを進めています。

本学園は「第 II 期（2024 年度－2028 年度）中期経営計画」及び中京大学長期計画「NEXT10 2033」の中で SDGs の推進を重点項目として掲げています。本債券への投資は、同社の取り組みを通じて、その達成に寄与するものと考え、投資を決定しました。

今後も、本学園は学校法人としての公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

※トランジション・リンク・ボンド：気候変動への対策を検討している企業が、脱炭素社会の実現に向けて、長期的な戦略に則った温室効果ガス削減の取り組みを行うにあたり実施するファイナンスの一種で、パリ協定の実現に向けた中長期的なクライメート・トランジション戦略に沿った目標設定を行い、達成に応じて債券の特性が変化する一方、資金用途を環境目的などに特定しない債券